

法務支援センター（旧・法務研究科・ロースクール）と早稲田大学大学院法務研究科（ロースクール）の連携事業について

1. 法曹養成に関する連携事業

2019年6月22日（土）、早稲田大学大学院法務研究科の杉本一敏先生による法曹進学者説明会「法曹への道」を開催（本学名城公園キャンパス）した。早稲田大学法ロースクールの講義の中身や奨学金制度等について説明があった。昨年につき、2回目となった今年は、愛知県下の大学に在籍する法曹希望者が多数参加した。説明の後、質問時間を設けたところ、参加者よりロースクール受験の準備、ロースクール進学後の勉強方法等について数多くの質問があった。東海地区のロースクールが半減していることもあり、進学先も限定されていることから、関東への進学を選ばざるを得ない、という出席者も見受けられた。質問した学生は、「進学説明会のために東京に出向かなくて済んだ。直接ローの先生にじっくり質問する機会が持てて、ありがたかった」との声もあった。引き続き東海地区において「法曹への道」を希望する学生たちに様々な情報を提供する場を持つことは大変意義があるように感じた。

2. 法実務教育に関する連携事業

2019年10月26日（土）名城公園キャンパスにおいて、本学法務支援センター（旧・法務研究科・ロースクール）と早稲田大学大学院法務研究科（ロースクール）との教育連携に基づいた法律実務教育が実施された。今年で第二回目となった本事業では、昨年に引き続き、早稲田大学法科大学院 菅原郁夫教授による「法律相談のための面接技法入門」講座と模擬相談者を活用した法律相談シュミレーション（トレーニング）を実施した。当日は、本センターの教員・研修生はもちろん、本学法科大学院出身の若手弁護士をはじめ、本年司法試験に合格した修習生、早稲田大学ロースクール出身の愛知県弁護士会の弁護士の方の他多数出席し、法律相談の面接技法について活発な質疑応答がなされた。特に、若手実務家を対象に模擬相談（ロールプレイ）が行われ、相談者の話を「聴く」・「訊く」にはどうしたらよいか等、司法修習では学べない法律実務の理論とスキルを同時に学ぶ貴重な機会となった。

